

資料編 パブリックコメントの実施

実施概要

(1) 意見募集期間

令和7年(2025年)12月25日(木)～令和8年(2026年)1月30日(金)【37日間】

(2) 意見募集方法

札幌市公式ホームページの意見入力フォーム、電子メール、郵送、ファクス、持参

(3) 資料の配布場所

- 札幌市役所（13階区政課、2階市政刊行物コーナー）
- 各区役所総務企画課広聴係
- 南区内の各まちづくりセンター

意見の内訳

(1) 意見提出者数

38名

① 提出方法別内訳

提出方法	入力フォーム	電子メール	郵送	ファクス	持参
人数	27	7	1	2	1

② 年代別内訳

年代	19歳以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
人数	0	0	2	5	10	13	8	0

③ 居住地区別内訳

居住地区	南区	市内他区	不明
人数	35	2	1

(2) 意見件数

163件

(3) 意見項目別内訳

項目		件数
第1章	計画の位置づけ・目的	1
第2章	市民参加による取組	4
第3章	施設コンセプト	9
	整備方針（アクセス）	9
	整備方針（バリアフリー・ユニバーサルデザイン）	5
	整備方針（防災）	3
	整備方針（環境配慮）	3
	整備方針（みどり・景観）	4
	整備方針（交流）	21
第4章	施設規模（区民センター）	8
	施設規模（図書館）	17
	施設規模（共用部）	7
	施設規模（駐車場）	17
	施設規模（駐輪場）	1
	配置計画	9
	フロア構成	13
	複合化対象施設の跡地利用（南区役所・南区民センター、南保健センター）	2
	複合化対象施設の跡地利用（澄川図書館）	4
第5章	事業手法の検討	3
	今後の検討に向けて	1
その他		22
計		163

意見の概要・札幌市の考え方

(1) 「第1章 背景と目的」に関するご意見

分類	概要	札幌市の考え方
計画の位置づけ・目的	『真駒内駅前地区まちづくり計画』には、B1 街区も内包されていることから、『(仮称) 南区複合庁舎整備基本計画』はまちづくり計画の下位計画ではないと思われる。	本基本計画は、『真駒内駅前地区まちづくり計画』の内容を踏まえて策定することから、まちづくり計画の下位計画として位置付けております。このため、本基本計画は、まちづくり計画において示された B1 街区の土地利用計画などについて、より具体的内容を定めた計画としております。

(2) 「第2章 市民参加による取組」に関するご意見

分類	概要	札幌市の考え方
市民参加による取組	市民意見と計画内容の対応関係、優先順位の考え方、不採用とした意見の理由などを整理・公表して欲しい。	市民参加による取組の意見などを参考にし、施設コンセプトや整備方針、フロア構成などの項目の内容をまとめております。なお、アンケート調査やワークショップの詳細については、本市公式ホームページ (https://www.city.sapporo.jp/shimin/shisetsu/minami/workshop/index.html) にて公開しております。
	施設規模など、ワークショップの議題にしていない事項についても要望を聞いてもらえる場を設けて欲しい。	『真駒内駅前地区まちづくり計画』の策定に至る様々な意見聴取をはじめ、本基本計画の検討段階においても、アンケート調査やワークショップを実施し、幅広い皆さまからご意見を伺った上で、本基本計画をとりまとめております。
	決められたコンテンツからコンセプトを議論するのではなく、コンセプトの初期段階から市民が検討に参加できる場を設けて欲しい。	本基本計画でまとめた内容を踏まえて、今後具体的設計等を進めていく予定です。
	これまで実施してきたワークショップやアンケートは一方通行の印象があったため、改めて住民の意見を聞く場を設けて欲しい。	

(3) 「第3章 施設コンセプトと整備方針」に関するご意見

分類	概要	札幌市の考え方
施設コンセプト	「多様な区民」とは、南区においてどのような区民を想定しているのか。【2件】	高齢の方、障がいのある方、子ども連れの方など、身体的な配慮が必要な方をはじめ、オンライン化による手続を望む方や対面での相談を望む方、自家用車で来庁される方、公共交通機関で来庁される方、学生・若者などの多様なニーズを持つ方、言語や文化が異なる方など、様々な視点における区民を想定しております。
	「行かなくてもよい選択」と「寄り添う庁舎」というコンセプトが相反しているように感じるため、考え方を教えて欲しい。【2件】	オンライン化による手続などにより、身近なところで手続を可能にする庁舎としつつ、対面での相談を望む方などが来庁された際には、親切で丁寧な対応を行うことで、来庁してもしなくてもより良い市民サービスを提供できる庁舎を目指すこととしております。
	バリアフリー化や防災性の強化は大変重要と考える一方で、傾倒しすぎるあまり日常的に使いにくかったり、景観を損なわないようにするためには、どのようなことが考えられるかを教えて欲しい。【2件】	いただいた例示などを参考にして、景観やデザインなどに配慮しつつ、必要な機能を満たす庁舎を整備するように今後も進めてまいります。
	バリアフリー化や防災強化は大変重要であることから、例えば非常時は炊き出し用のかまどになるベンチを設置するなど、災害時や日常時の両方に使えつつ、景観を損なわないものを整備して欲しい。	
	『真駒内駅前地区まちづくり計画』で示されている「真駒内らしい品格ある賑わい」などに関連して、「南区らしさ」はどのような特徴であると考えているかを教えて欲しい。【2件】	まちづくり計画では、南区の特徴は、豊かな自然やゆとりのある住環境、芸術や文化、観光の拠点など多様な地域資源を有している地域であると考えております。そのうち、南区複合庁舎において特に関連する特徴としては、豊かな自然が対象になると考えております。

分類	概要	札幌市の考え方
整備方針 (アクセス)	<p>駐車場と平岸通の間には、みどりなどの潤いとにぎわいが創出される歩行者空間を敷地内に整備し、敷地南側の真駒内団地 6 号線を含めて安心・安全な歩行者ネットワークを形成して欲しい。形成に当たっては、歩道舗装との連続性を優先するなど、歩行者空間の連続性を確保して欲しい。</p>	<p>いただいたご意見を参考にして、関連部局とも連携しながら、安心・安全な歩行者ネットワークの形成を進めてまいります。</p>
	<p>駅から新庁舎までの歩行者経路をアーケードや連絡通路によって全天候型で整備すべき。これにより、雨や雪の日でも濡れずに、かつ安全に移動できるバリアフリーな環境が実現し、新庁舎が掲げる「安全・安心な暮らしを支える拠点」としての機能がより実効性の高いものになる。</p>	<p>真駒内駅前地区においては、駅から B2 街区までを結ぶ天候に左右されない半公共的な通路空間（街区間連絡動線等）を設け、真駒内駅からつながる円滑で安全で快適な歩行者空間の実現を目指します。</p>
	<p>街区間連絡動線について、A 街区とのアクセスのみならず「B 2 街区まで拡張性を持たせた設計とする」ことや、安心安全な歩行者ネットワーク向上のため「各施設開館時間外も歩行できるような設計、運用とする」ことを本計画内に明記して欲しい。【類似意見含め 3 件】</p>	<p>いただいたご意見を踏まえて、以下のとおり修正いたします。</p> <p>【第 3 章 2.(2)「アクセス」】一点目・まちづくり計画に～向上されます。<u>また、将来的に隣接する B2 街区と接続される可能性を見据えて、南区複合庁舎内に利用時間などに配慮した歩行者空間を確保します。</u></p> <p>なお、上記の歩行者空間は、「街区間連絡動線」として確保する予定であり、その利用時間は第 4 章 3.(2)「施設ごとの利用時間」で示しているとおりです。</p>

分類	概要	札幌市の考え方
整備方針 (アクセス)	<p>街区間連絡動線による接続以外に、隣接する再開発街区との連携をどのように考えているかを教えて欲しい。【2件】</p>	<p>街区間連絡動線に加え、道路のバリアフリー化などにより、安心・安全な歩行者ネットワークの形成を進めてまいります。</p> <p>なお、街区間の一体感の創出については、真駒内駅前地区の景観の考え方をまとめた『真駒内駅前地区景観デザインガイドライン』を策定する予定としており、A・B・C街区共通で当該ガイドラインを踏まえた施設計画とすることを想定しています。</p>
	<p>真駒内駅周辺の交通量や人流の想定、冬期を含めた安全対策、周辺道路への影響について、開発後における具体的な状況等を示すべき。</p>	<p>南区複合庁舎は、地区外から図書館を複合化する計画としているものの、主な施設は現状真駒内駅周辺に立地しているため、大きな交通量の変化は生じないと考えております。</p> <p>なお、駐車場の配置や出入口は、周辺道路に交通負荷を与えないように配慮した計画とします。また、公共交通機関を利用される方々は、街区間連絡動線を用いることで道路を渡らないで移動できるようになるため、現状と比べて冬期間などの安全性は増すものと考えております。</p> <p>さらに、周辺の交通量については、平岸通の線形の変更による影響や新たな開発によって増加する交通量を考慮した交通解析を実施しております。安全対策については、冬期の堆雪、見通し確保も考慮した道路幅を確保するとともに、交差点においては信号による制御や隅切りによる見通しの確保など、安全の確保に努めてまいります。</p>
	<p>来庁者の安全確保の観点から、周辺道路に自転車専用レーンを整備して欲しい。</p>	<p>周辺道路に自転車専用レーンを整備する予定はございません。車道部に1.0m以上の幅員の路肩を確保することから、自転車は路肩を走行いただくことを想定しております。</p>

分類	概要	札幌市の考え方
整備方針 (バリアフリー・ユニバーサルデザイン)	建物や外構などのA街区と連携する歩行者空間については、各街区の事業主体と接続方法に関する協議を事前に行い、バリアフリー・ユニバーサルデザインを実現して欲しい。	ご意見のとおり、A街区の事業主体と連携して検討を進めてまいります。
	バリアフリー化に当たって、地下鉄真駒内駅に向かって生じている高低差の処理方法について、どのように考えているかを教えて欲しい。【2件】	真駒内駅前地区では、現況の高低差を踏まえ、建物や道路のバリアフリー化に向けた検討を推進してまいります。
	車いす利用者も使えるエレベーターや、1階から3階まで移動できるエスカレーターを設置して欲しい。	いただいたご意見を参考にして、効率的に来庁者を輸送できる縦動線を引き続き検討してまいります。
	各階の移動に加えて、各フロア内の移動についてもバリアフリー化して欲しい。	いただいたご意見を参考にして、今後の設計段階において検討してまいります。
整備方針 (防災)	本施設が災害時に実効性のある対応を取れるかどうかを市民が判断できるようにするため、想定するリスクの内容、対応方針、性能要件、見直しの仕組みなどを具体的に示すべき。	「札幌市地域防災計画」にて想定している地震や風水害などの災害の際に、庁舎機能を維持・確保できるよう計画しております。
	自然災害に加えて、核シェルター機能を含む安全対策の導入など、国際情勢の不安定化などに起因する非常事態も視野に入れた防災・避難機能のあり方も検討した庁舎整備をすべきである。	核シェルター機能を含む安全対策の導入など、国際情勢の不安定化などに起因する非常事態も視野に入れた防災・避難機能について、本市において特段方針はございません。 そのため、南区複合庁舎においては、「札幌市地域防災計画」にて想定している地震や風水害などの災害の際に、庁舎機能を維持・確保できるよう計画しております。
	近年全国的に山火事が多発しており、南区は森林が多いことから、防火帯を設けるなど「山林火災に対応する」旨を追記して欲しい。	敷地外で発生した火災からの延焼を防ぐため、適切な距離を確保した施設配置や防火性能等を備えた施設を整備します。

分類	概要	札幌市の考え方
整備方針 (環境配慮)	ZEB 化や再生可能エネルギーの活用などに当たっては、目標とする環境性能の水準や費用対効果などを示すべき。	本市における公共施設では、新築・改築において、原則 ZEB 化することとしており、本施設についても「Oriented」以上を目指すこととしつつ、引き続き費用対効果なども考慮しながら、再生可能エネルギー（例：太陽光発電設備）の導入などを含めて ZEB の実現可能性を検証します。詳細については、令和 9 年度に予定している事業者選定時における提案内容などを踏まえて、今後の設計段階において検討してまいります。
	木造を前提に考えて欲しい。 内装や家具、外構部分などには、森林環境譲与税を活用して木をふんだんに使い、南区らしさを出して欲しい。	第 3 章 2.(5)「環境配慮」の項目で記載しているとおり、木造化の促進または内装等の木質化に、可能な限り努める計画とします。
整備方針 (みどり・景観)	真駒内駅前地区の再開発に当たり全体のイメージカラーを選定することなどによって、各街区に整備される建物同士が調和したデザインとするか、若しくは同じデザインにして欲しい。	今後策定が予定されている『真駒内駅前地区景観デザインガイドライン』を踏まえて、周辺と調和した施設整備を今後検討してまいります。
	まちづくり計画やガイドラインを踏まえて、検討した具体の施設計画を示して欲しい。	施設の設計は、令和 10 年度以降を予定しているため、現段階において具体の施設計画を示すことができません。
	現庁舎のようにきれいに造園された緑地に加えて、屋上緑化も整備されるとよい。【2 件】	『札幌市緑の保全と創出に関する条例』の基準に適合した計画とすることとし、具体の施設計画は今後検討してまいります。

分類	概要	札幌市の考え方
整備方針 (交流)	南区体育館は真駒内駅から離れていて利用しづらいため、南区役所や南保健センターの跡地利用など真駒内駅前地区の再開発の際に、一人でも利用可能なトレーニング室などを設けて欲しい。【2件】	A街区においては、当該施設を公募条件とする予定はございませんが、民間事業者からの提案を妨げるものではありません。また、B1街区の南区複合庁舎内に当該施設を整備する予定はございません。B2・C街区においては、いただいたご意見を参考にして、今後導入する機能について検討してまいります。
	体育館形式を基準としたホールと既存の南区体育館のすみわけを教えて欲しい。【2件】	整備を予定しているホールは、現状と同様にミニバレーや卓球が行える仕様とすることとしており、南区体育館のような球技全般（例：バスケットボールやフットサル、テニスなど）を行える仕様ではございません。
	月1回少人数での講座実演紹介コーナー（例：健康体操、生花、野点ほか）や足湯などを整備して欲しい。	現状、南区民センターにて、イベントや講座を実施しており、南区複合庁舎整備後も引き続き同様の講座などを実施する想定です。なお、南区複合庁舎内に足湯を整備する予定はございません。
	図書館に隣接した位置に、自習スペースやワーキングスペース、打合せなどに利用できるフリースペースを設けて欲しい。	1・2階に配置する区民センター・図書館と連携した利用が行える位置にサードプレイスを設置するなど、にぎわいや交流が生まれやすい環境を整える計画とする予定です。具体の施設計画については、令和9年度に予定している事業者選定時における提案内容などを踏まえて、今後の設計段階において検討してまいります。
	札幌市民交流プラザの1階のような空間を想定しているかなど、サードプレイスの具体案を示して欲しい。例えば、屋外広場とサードプレイスがつながると利活用しやすくなると思う。	
	ギャラリーやラウンジなどサードプレイスについて、現段階で配置場所や規模などの設置方法を検討し、本基本計画に反映した上で、今後の設計段階で恣意的な運用などにつながらないように配慮して欲しい。	
	市井が憩える開放感のあるエントランス・ホワイエ空間を設けることを検討しているか。【2件】	

分類	概要	札幌市の考え方
整備方針 (交流)	共用部に設置予定のギャラリーについては、ただ貸出しする展示スペースではなく、芸術の森美術館の企画と連携した展示を行うなど、芸術の区を謳う南区の顔になる施設に相応しい質の高い展示を市民が楽しむことのできる場として欲しい。	現段階において、市費を投入しての専門家の配置などは考えておりません。
	ホールやギャラリーなどの運営は、キュレーターなどの専門家を置き、市民と共同で実施して欲しい。	
	屋上について、展望スペースにすることやイベントなどの活動ができるようにするとよい。【2件】	いただいたご意見を参考にして、今後事業を進めてまいります。
	行政手続のオンライン化や施設利用者の利便性向上、防災機能強化の観点などから、施設内にフリーWi-Fiを設置して欲しい。	いただいたご意見を参考にして、今後事業を進めてまいります。
	区役所と図書館、区民センターなどの市民の活動機能が一体の施設となることによって、どのような交流を生み出すことを想定しているのか。	区役所へ手続に来られた方が図書館や区民センターなどをあわせて利用するなど、これまで各施設を利用されたことがない方々による利用の機会が創出されるとともに、新たな出会いなど利用者同士の交流が生まれる可能性も創出されると考えております。また、区役所や区民センターなどのイベントと連携した図書の展示など、各施設間の連携を今後検討してまいります。
	図書館や区民センター、共用部は、大人と子どもが交流し、地域全体が子育てを支援してる空気感のある空間にして欲しい。【2件】	交流を促すサードプレイスや子ども向けのスペースを設けるなど、令和9年度に予定している事業者選定時における提案内容などを踏まえて、今後の設計段階において検討してまいります。

分類	概要	札幌市の考え方
整備方針 (交流)	区民センターや図書館、共用部などの交流スペースについて、それぞれの交流の場としての位置づけや連携のあり方を教えて欲しい。【2件】	令和9年度に予定している事業者選定時における提案内容などを踏まえて、各施設の特性などに応じた位置づけや連携のあり方を今後検討してまいります。
	A街区に整備される「交流の核」と類似の機能を整備した場合、各交流機能の効果が相殺される可能性がある。	交流機能が発揮されるよう検討してまいります。

(4) 「第4章 施設計画」に関するご意見

分類	概要	札幌市の考え方
施設規模 (区民センター)	区民センターの貸室は、楽器を用いたサークル活動なども可能とするため、地下部分を活用するなど防音性に配慮して欲しい。	防音性や開放性など、利用目的に応じた諸室を利用者が選択できるように今後検討してまいります。
	窓がないと閉塞感を与えるため、貸室には窓を設けて欲しい。	
	区民センターにモルックができるスペースを設けて欲しい。【4件】	専用のスペースを設ける予定はないため、区民センター内の貸室（ホールを含む）をご活用ください。
	区民センターの予約状況の表示について、紙の掲示物を作成・廃棄し続ける運用は、非効率かつペーパーレス化の流れに逆行しているため、手書きなどの対応ではなく、電子掲示板を使用して欲しい。	いただいたご意見を参考にして、施設の運用方法を今後検討してまいります。
	今後高齢化に伴いサークル活動の存続が難しくなることを踏まえ、ちえりあ（札幌市生涯学習センター）のように、サークル加入に関する相談窓口を設けて、多世代が学びを深められる体制を整えるのが重要である。	現状、南区民センターにおいても、サークル紹介を行っております。詳細は運営者（一般社団法人札幌市区民センター運営委員会）にご確認ください。

分類	概要	札幌市の考え方
施設規模 (図書館)	近年、他都市などで新しいタイプの図書館が整備されているが、今回整備する図書館は、どのようなコンセプトであるかを教えて欲しい。【類似意見含め2件】	新しい図書館では、図書・ひと・情報との出会いを促す交流の場所や、市民の学びや創造的な活動を支える場所となることを目指し、暮らしに寄り添ったテーマ別の本棚や、にぎわいの空間と静かな空間の分けを検討します。
	図書館を中心とした文化的な施設の機能を併せ持った複合庁舎にして欲しい。【2件】	なお、既存の澄川図書館の延床面積は、エントランスやロビー、トイレなどの共用部を含んだ面積であり、それらを除いた書架・閲覧スペースなどの専有面積は、本計画面積と同等の規模です。
	大通カウンターで本を取り寄せて貸し出してくれたり、予約本郵送サービスもあるため、わざわざ人が来るくらい魅力的な図書館である必要がある。	
	既存の澄川図書館と比較して計画面積が縮小されているため、サービスの質の低下を招いたり、交流の場所・学びや創造的な活動を支える場所を目指すためにはスペースが不足するのではないか。【類似意見含め6件】	
	現在の澄川図書館と同程度の設備（閲覧スペースなど）を設けて欲しい。	これまでと同等の活動を可能とする設備を設ける予定です。
	図書館は、図書・情報館のようにIT、AI技術を取り入れた新しいものにして欲しい。	いただいたご意見を参考にして、今後検討してまいります
	利用者がゆっくり読書出来るスペースを設けて欲しい。	図書館内に静かな空間を設けることや、蔵書のセキュリティを考慮した南区複合庁舎内の閲覧環境の整備など、図書館の運用方法を今後検討してまいります。
	図書館内での閲覧に限らず庁舎内の至るところで閲覧出来たり、他施設と連携したイベントを行うなど、図書館は柔軟な使い方ができるようにして欲しい。【3件】	

分類	概要	札幌市の考え方
施設規模 (共用部)	複合庁舎内にエリアマネジメントの活動を行うための拠点やスペースが設けられると考えてよいか。新庁舎と住民主体のエリアマネジメントの関わりについて、教えて欲しい。	南区複合庁舎内には専用のスペースを設ける予定はありませんが、A街区の開発事業者等と連携してエリアマネジメントを推進していきます。
	エリアマネジメントの考え方から、住民参加が行えるスペースを設置して欲しい。	
	共用部の計画面積が広いと、図書館などの他のスペースとして整備するほうが区民の利便性が向上するのではないか。	施設ごとの利用時間を考慮して、稼働時間が最も長い共用部にサードプレイスを設けることで、より多くの区民が使いやすく利便性が向上するものと考えており、当該スペースを含めて共用部の計画面積を設定しております。詳細については、今後の設計段階において検討してまいります。
	ロビーやギャラリーなどの市民が利用できる場所と、機械室や倉庫などの管理部門は、用途が異なるため、市民が利用できる場所の床面積を明確にして欲しい。また、「交通部分」という用語がわかりにくいと、語句を変えるべき。	共用部内の区分けなどについては、令和9年度に予定している事業者選定時における提案内容などを踏まえて、今後の設計段階において検討してまいります。 また、いただいたご意見を踏まえて、以下のとおり修正いたします。 【第4章 1.(1)「各施設の想定規模」】 「図表 19 共用部」】必要諸室等欄の記載 エントランス、ロビー、ギャラリー、飲食・物販スペース、廊下、階段、機械室～
	現在の食堂は比較的安価でおいしいものを味わえるととても大切な場所だと実感しているため、引き続き設置して欲しい。また、フリースペースと連動したカフェのようなコーヒーをゆっくり味わえる場所を設置して欲しい。【類似意見含め2件】	来庁者の利便性等の観点から飲食・物販施設の導入を目指して、今後事業を進めてまいります。
A街区と街区間連絡動線で接続されることを踏まえると、食堂は設ける必要はない。		

分類	概要	札幌市の考え方
施設規模 (駐車場)	地下駐車場や簡易な構造の屋根付き駐車場などこの先 50 年の除排雪想定費用を比較検討した結果を示した上で、本計画案で示す屋外駐車場整備に至った理由を説明して欲しい。	現状の区役所駐車場における除排雪費は、約 100 万円強/年であり、計画駐車台数を踏まえると、南区複合庁舎駐車場の除排雪費は、約 200 万円/年（50 年で約 1 億円）と仮定しております。駐車場の面積を約 6,000 m ² と仮定すると、地下駐車場を整備した場合の費用は約 47 億円、簡易な構造の屋根付き駐車場や自走式立体駐車場を整備した場合の費用は約 6~18 億円であることから、費用面を考慮して屋外駐車場を整備することとしております。 ※あくまでも概算金額による試算です
	来庁者用駐車台数（146 台）の算出根拠を教えてください。【2 件】	既存施設における駐車場利用実態調査や複合化後の施設規模などを踏まえて、駐車場の台数を設定しております。また、周辺街区にも一定量の駐車場が整備される見込みであり、真駒内駅周辺地区において、駐車台数は現状よりも充実するものと想定しております。周辺街区の整備内容や今後の社会情勢等を踏まえて、柔軟な運用方法を今後検討してまいります。
	現状を基準とした駐車台数では不足することが想定されることから、現状をどのように認識して計画し、今後どの程度の拡充を想定しているかを教えてください。	
人口減少やコンビニ交付などのサービス普及によって今后来庁者数が減少することが想定されることや、周辺再開発街区の整備内容を踏まえると、計画駐車台数は過大である。ピーク時における多少の混雑を許容する計画のほうが持続可能で賢明だと考えるとともに、まちづくりの観点から周辺民間駐車場との相互利用や、長時間利用者への有料化などを検討するのが合理的である。【類似意見含め 6 件】		

分類	概要	札幌市の考え方
施設規模 (駐車場)	<p>現状の駐車場は、冬期間は雪の堆積場として使われることで一部が駐車できなくなっており、新庁舎でも計画台数を最大限活用できないと考えられるため、冬期間はどのようにして駐車台数を確保する想定かを教えて欲しい。【3件】</p>	<p>現状と同様に、除排雪にて対応することを基準として、今後検討してまいります。</p>
	<p>駐車場の料金設定が無料であれば、地下鉄利用者やA街区利用者（A街区の駐車場が有料の場合）による駐車が多くなることが想定されるため、複合庁舎利用者が駐車できないといったことがないような配慮をして欲しい。【3件】</p>	<p>目的外利用や長時間利用防止の観点から、関係街区の利用料金などを踏まえた部分有料化の導入など、運営のあり方を今後検討してまいります。</p>
	<p>今後の公共交通のあり方を踏まえると、自家用車を利用せざるを得なくなり真駒内駅前地区の駐車場が不足することが想定されるため、適切な利用料金設定を行うなど、周辺状況を考慮した運用が必要と考えます。</p>	
施設規模 (駐輪場)	<p>庁舎敷地内に、周辺街区利用者を踏まえた駐輪台数を整備して欲しい。</p>	<p>敷地内には、南区複合庁舎の利用者用に駐輪場を整備する予定です。 また、各街区の開発事業者には、施設規模等を考慮した利用者用の駐輪場の整備を求めています。</p>
配置計画	<p>中央区複合庁舎では、まちと庁舎が切り離された印象を受けたため、南区複合庁舎では、庁舎とまちが対話するような、つながりのある配置計画を期待する。</p>	<p>いただいたご意見を参考にして、今後事業を進めてまいります。</p>

分類	概要	札幌市の考え方
配置計画	平岸通は、駅前通り（にぎわいの軸）からつながる重要な歩行者動線となるため、平岸通側に車両出入口を設けないで欲しい。【2件】	<p>入出庫の回転を良くするために駐車場出口を複数設けたり、駐車場出入口と搬出入車両の動線を分ける必要があることから、敷地東側にも車両出入口が必要になることも考えられます。そのため、令和9年度に予定している事業者選定時における提案内容などを踏まえて、今後の設計段階において検討してまいります。</p> <p>なお、ちあふる利用者に影響を与えないよう安全対策を行う計画とする予定です。</p>
	<p>駐車場出入口が一か所だと、災害時やイベント時に混雑する可能性があるため、平岸通側にも緊急時用の車両出入口を設けてはいかがか。また、車両出入口がちあふるの園庭と近接しており、子どもたちの安全性を確保できるか懸念があるため、安全管理の方針を示して欲しい。</p>	<p>敷地内に車寄せスペースを設けることや、駐車場側を含めて複数の施設出入口を設けることなど、車寄せスペースや駐車場からアクセスしやすい施設にする予定です。</p>
	<p>真駒内駅周辺における送迎による路上駐車を減らすため、駅前に整備される送迎スペースに加えて、例えばエントランス付近に車寄せを設けるなど、複合庁舎敷地にも送迎車を誘導するような施設計画にして欲しい。</p>	<p>既存施設や南区複合庁舎、ちあふるの園庭など、それぞれの想定される配置を踏まえて、圧迫感の軽減や広場内における日照の確保の観点などから、イメージ図では敷地南側に広場を配置する計画としております。一方で、配置場所を決定しているわけではないことから、令和9年度に予定している事業者選定時における提案内容などを踏まえて、今後の設計段階において検討してまいります。</p>
	<p>正面玄関前に駐車する車が多くなることが想定されるため、広場の一部に車寄せスペースを設けて欲しい。</p>	<p>いただいたご意見を参考にして、今後事業を進めてまいります。</p>
	<p>にぎわいの観点から、駅前通りからの歩行者動線を考慮すると、敷地北東側平岸通に面するエリアは駐車場ではなく、メインエントランスと併せて広場とすることが望ましいが、広場を敷地南側に配置している理由を教えて欲しい。</p>	
	<p>メインエントランスとして認識できるように、間口を広めに整備して欲しい。</p>	

分類	概要	札幌市の考え方
フロア構成	区役所機能と複合化する施設が連携し、交流が促進される庁舎になるなど、既存の公共施設の構成に捉われない発展的なアイデアが盛り込まれることを期待する。【2件】	令和9年度に予定している事業者選定時において、複合施設として最大限効果を発揮する提案を引き出せるように、今後事業を進めてまいります。
	図書館の配置は、2階ではなく1階のほうが区民が憩えるというコンセプトに合致していると考えるが、現時点で2階とした理由を教えてください。【2件】	第4章3.(1)「フロア構成検討の視点」では、施設ごとの開庁日や利用時間帯と施設全体や周辺のにぎわいに配慮して計画することとしており、1・2階に区民センター・図書館、サードプレイスを配置することを基本としております（図書館は2階で確定したわけではなく、イメージ図の作成に当たって便宜上2階に記載しております。）。具体の配置については、令和9年度に予定している事業者選定時における提案内容などを踏まえて、今後の設計段階において検討してまいります。また、区役所窓口は上階に配置する想定であるため、エレベータの設置など、効率的に来庁者を輸送できる縦動線を引き続き検討してまいります。
	サードプレイスはどこに設置されるかを示して欲しい。	
	利用者が多い区役所窓口は、利便性やバリアフリーの観点から1階に配置して欲しい。	
	街区間連絡動線は、各街区間のアクセス性向上や交流の促進を踏まえると、3階接続ではなく2階接続が望ましい。【2件】	空中歩廊の高さについて、道路横断部においては道路からの高さを一定以上確保することが必要であること等を考慮し、南区複合庁舎の3階部分に街区間連絡動線が接続されることを想定しております。将来的にB2街区と接続される可能性のある街区間連絡動線を含めた具体の配置については、令和9年度に予定している事業者選定時における提案内容などを踏まえて、今後の設計段階において検討してまいります。また、街区間連絡動線については、可能な限り街区間で高低差が生じないように、検討してまいります。
	複合庁舎とB2街区をつなぐ想定の街区間連絡動線は、A街区と複合庁舎をつなぐ街区間連絡動線と同一階（レベル）で整備して欲しい。	

分類	概要	札幌市の考え方
フロア構成	例えば、A街区と複合庁舎をつなぐ街区間連絡動線の前後に交流の空間があるなど、街区間連絡動線は単なる通路にはせず、庁舎側に人を呼び込むような工夫をして欲しい。【2件】	いただいたご意見を参考にして、今後検討を進めてまいります。
	区長室の構造及び配置について、適切な防音性とプライバシー性を確保しつつ、公的空間としての透明性と節度を保ったものとして、計画段階から組み込まれていることが重要である。	いただいたご意見を参考にして、今後事業を進めてまいります。
	フロア構成のイメージ図では、南区複合庁舎の上に、マンションらしき高層階が建てられる形に見える。	南区複合庁舎の敷地内にマンションを整備する予定はございません。
複合化対象施設の跡地利用（南区役所、南区民センター、南保健センター）	<p>将来に大きなリスクを残す可能性があるため、どのような機能を想定し、どのような基準で跡地活用を判断しようとしているのか、考え方と検討の進め方を明確にした上で、南区複合庁舎の整備を進めて欲しい。</p> <p>跡地利用の一つの候補として、札幌方面南警察署の誘致を検討してはどうか。</p>	<p>B2・C街区は、南区複合庁舎整備後に現区役所等を解体した後の着手となり、事業化までに期間を要することから、事業着手の段階であらためてA街区の導入機能や土地需要、地域ニーズ、公有施設の更新動向等を踏まえ、導入する機能について検討する予定です。</p> <p>なお、B2・C街区においては、真駒内独自の魅力を活用・向上させる機能の導入を目指しており、A街区を補完する機能や、教育機能や創造活動に資する機能、スポーツなど健康づくりに資する機能、B1街区以外の公的機能など多様な機能を想定しております。</p>

分類	概要	札幌市の考え方
複合化対象施設の跡地利用（澄川図書館）	澄川図書館と他の図書館における区民の利用頻度を比較するとともに、真駒内に移転したらどの程度の利用頻度になる見込みなのかを示した上で評価しつつ、その上で澄川図書館を解体するのであれば、すみかわ地区センターに増設する図書室の整備時期やスペースをきちんと示し、市民理解を得た上で決定すべきである。	澄川図書館の移転については、令和6年に住民説明会やオープンハウスなどを通じて、地域の方々などに説明を行っております。また、ご参加いただいたの方々などからのご意見に対する札幌市の考えなどについては、本市公式ホームページ（ https://www.city.sapporo.jp/toshokan/guide/sisin/sumikawatoshokan.html ）にて公開しております。
	澄川図書館の解体を前提として本計画を策定するのであれば、その代替として澄川地区にどのような施設・機能をどの水準で確保するのかなど、本計画に明確に示して欲しい。	
	澄川図書館解体後に整備するすみかわ地区センター内の図書室は、他の地区センターと同等の規模（面積：概ね200㎡以上、蔵書数：概ね30,000冊以上）を確保して欲しい。	
	すみかわ地区センター内の事務室に「予約図書の受け取り&返却の窓口」を設けて欲しい。	

(5) 「第5章 事業計画」に関するご意見

分類	概要	札幌市の考え方
事業手法の検討	将来に渡って安定的かつ効率的に施設運営を行えるかどうかを市民が判断できるようにするため、維持管理費の見通し、運営体制の方向性、将来変化への対応方針などを具体的に示すべき。	事業手法として、BT0（一括払型）方式の導入を前提に進めていくことしており、同方式を採用した場合は施設の維持管理・運営期間を15年程度と設定して契約する予定です。そのため、令和8年度に予定している要求性能をとりまとめる段階において、将来変化への対応方針などを検討していく予定です。

分類	概要	札幌市の考え方
事業手法の検討	<p>将来の管理運営費の増加により、住民負担が重くなることが想定されるため、定性評価の項目に「将来の経費変動のリスク」を追加して欲しい。</p> <p>BT0を採用した理由を明確にするため、BT0と従来手法について、概算事業費や工期、リスク分担の具体像、工事期間中の施設運営への影響などを同一条件で整理・比較すべきである。</p>	<p>将来の管理運営費の変動による住民負担のリスクについては、本市としても重要な課題と認識しております。そのため、第5章1.(6)「定性評価」の項目の一つである「リスク分担」において、将来の経費変動リスクへの対応策を評価の対象としております。</p> <p>BT0（一括払型）方式の導入を前提に進めていくこととした理由については、第5章1.における(5)定量評価（VFM）や(6)定性評価、(7)総合評価のとおりです。</p> <p>なお、実際にBT0方式にて事業を進めるとなった場合には、民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律（PFI法）に基づいて特定事業として選定する必要があるため、特定事業の選定に至った判断及び評価内容についてあらかじめ公表する予定です（令和8年度末を想定）。また、工事期間中における施設運営への影響を最小限に留めるため、本基本計画にて施設配置を検討しており、どの手法を採用した場合であっても、当該施設配置を基準に事業を進めていく予定です。</p>
今後の検討に向けて	<p>地下鉄真駒内駅から複合庁舎までの街区間連絡動線の整備は、複合庁舎の整備に含まれるものか。整備主体が異なり、万が一にも一部しか整備されない場合は、A街区と複合庁舎の街区間連絡動線がただの屋根付き歩道橋になる可能性があることが懸念である。</p>	<p>街区間連絡動線の整備や維持管理の主体については、今後、A街区の公募条件とあわせて検討していきます。</p>

(6) その他のご意見

分類	概要	札幌市の考え方
庁舎整備	平面プランを公表して欲しい。【3件】	令和9年度に予定している事業者選定時において、より良い民間の創意工夫を引き出すため、平面プランの公表は控えさせていただきます。なお、具体の平面プランについては、提案内容などを踏まえて、今後の設計段階において検討してまいります。
	建物のファサードが開放的なイメージにつながる平面プランにして欲しい。	いただいたご意見を参考にして、今後事業を進めてまいります。
	動物愛護のコミュニティを形成する観点から、ペットに関する講習などの実施や、ペット同伴を可能とするスペースを整備して欲しい。	いただいたご意見を参考にして、今後事業を進めてまいります。
	建物外からも南区複合庁舎ということが認識できるように、案内サインを設けて欲しい。	いただいたご意見を参考にして、今後の設計段階において検討してまいります。
	南区全体を代表するキャラクターとして、「ときどきくま太郎」を新庁舎の顔として配置して欲しい。	いただいたご意見を参考にして、今後事業を進めてまいります。
複合化対象施設	区民の利便性の向上や災害対応、将来的な財政負担軽減の観点から、土木センター（土木部）についても南区複合庁舎の複合化対象施設にするべきと考える。	土木センターは、様々な資機材の保管のための用地が必要であること、資材や不法投棄物等の搬出や搬入のため大型車両の出入りが多いことから、多数の区民が利用する区役所との複合化は安全性に課題があり、区役所とは別の場所で一定の面積が確保できる箇所に立地することが望ましいと考えられます。また、災害時において関係部署との情報共有等は重要であり、区役所と離れた場所であっても、電話やオンライン会議ツールなどの活用により問題は生じないものと考えています。 以上のことから、土木センターは南区複合庁舎における複合化対象施設にはしておりません。

分類	概要	札幌市の考え方
複合化対象施設	C0ミドリをよく利用しているため、開発後においてもイベントを実施したり、子どもの遊び場として継続して使える場所を用意して欲しい。	まこまる機能のうちC0ミドリについては、旧真駒内緑小学校跡地を札幌市が保有したまま暫定的に有効活用を行ってきたものであり、新たな施設を設置する計画はありませんが、今後も子どもにとって様々な経験ができる機会を提供していきます。なお、その他のまこまる機能については、南区複合庁舎整備における複合化対象施設としております。
	南区のにぎわい創出のため、まこまるはなくしてはいけない施設だと考えているが、他の街区に代替施設が設置されるのかなど、まこまる機能が今後どうなるのかわからない。	
周辺街区	現状地域暖房を利用していることで騒音が断続的に発生しているため、周辺への騒音対策をして欲しい。	いただいたご意見を参考にして、今後事業を進めてまいります。
	真駒内駅前地区に飲食店や居酒屋などの商業機能を誘致して欲しい。	A街区に導入を図る機能の一つとして、にぎわいの核となる商業系の機能（買い物、飲食、サービスなど）を掲げております。具体の施設については、公募型プロポーザルを経て、民間事業者が整備内容を決めることになる予定です。また、南区複合庁舎内には、来庁者の利便性等の観点から飲食・物販施設の導入を目指して、今後事業を進めてまいります。
	桜山山頂（展望台設置）や地下鉄真駒内駅（構内に山頂までの登山口設置）と真駒内川をつなぐ駅前通りを遊歩道として整備して欲しい。また、その遊歩道の中に複合庁舎があるのが望ましい。	駅前通りを遊歩道として整備する予定はありませんが、桜山の散策路へのアクセシビリティ向上を考慮した歩行者動線を整備する計画としております。また、駅前通りは、にぎわいやみどりが感じられる歩行者空間になるように推進していきます。なお、南区複合庁舎はB1街区（旧真駒内緑小学校の敷地）に整備を予定しているため、駅前通りに面する予定はございません。

分類	概要	札幌市の考え方
周辺街区	札幌オリンピックモニュメントはもちろんのこと、真駒内発展の起源であるオリンピック関連のものはぜひとも残して欲しい。	真駒内駅前にある札幌冬季オリンピック記念時計塔は、平岸通の迂回化によって移設等が必要になります。当該物件は、南区・真駒内の歴史や文化を象徴する重要な地域資源であると考えており、駅前の再開発後も駅前のシンボルとして地域の皆様に親しみを持ってもらえるように取扱いについて検討を行ってまいります。
	真駒内駅周辺を条例によって完全禁煙にするなど、市民の健康を守って欲しい。	条例の改正等は想定しておりませんが、健康増進法等に基づき、受動喫煙に配慮した真駒内駅前地区を目指してまいります。
	真駒内駅周辺における送迎スペースを広めに確保して欲しい。	現況調査の結果に基づき、送迎スペースを駅北側交通広場と駅西側交通広場のそれぞれに設置する予定です。なお、A街区における送迎スペースについては、民間施設の配置計画とあわせて検討してまいります。
	サテライトの情報発信コーナーなど、A街区内に図書館連携を促す機能があるとよい。【2件】	A街区において、図書館に関連する機能を市として整備する計画や、公募条件とする予定はございません。なお、民間事業者からの提案を妨げるものではありません。
	芸術の森や市立大学などの文化施設と連携ができる市民文化局の分室を複合庁舎内に設置することや、アーツカウンシルの拠点を真駒内に設置するなど、創造都市さっぽろを推進して欲しい。	南区複合庁舎内に市民文化局の分室やアーツカウンシルの拠点を設置することは考えておりません。
全体	市民文化局やまちづくり政策局、建設局など、関連局・区が連携し、オール札幌市として取り組んで欲しい。【2件】	いただいたご意見を参考にして、今後事業を進めてまいります。
	基本計画に対する意見と提案を以下に示す。 【考え方に必要な視点】 ・札幌の50年ビジョン100年ビジョン ・札幌の中の真駒内の位置付け ・教育と福祉と医療と芸術についてのまちづくりの観点	いただいたご意見を参考にして、今後事業を進めてまいります。

<ul style="list-style-type: none"> ・交流人口の少なさと住民の高齢化への対策 ・地下鉄終着駅としての利便性の活用方法 ・札幌市が検討中の第4の都市型モビリティの導入可能性 ・南町から警察学校敷地へと続く街区の整備計画 ・常磐から滝野に至るアーバンリゾートの要因分析 ・清田との周遊的視点としての環状路の役割 ・真駒内本町周辺の老朽化と再開発の方針 ・公団跡地の利活用方法（集団住宅または宅地分譲） ・真駒内公園の地域公園としての機能と防災の観点 ・豊平川氾濫時の水害対策の観点 ・商業ゾーンの配置について <p>【機能として組み込む要因】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アートセンター（アーツカウンシル機能を含む） ・アートギャラリー ・多目的ホール（音響と照明設備含む） ・区民センター機能（集会、教室、セミナー、市民活動） ・小体育館（スポーツ振興事務局） ・駒岡熱源を活用した温水プール設置の可能性検討 ・健康推進センター（予防医学の観点から） ・リハビリセンター、姿勢分析、トレーニングジム ・真駒内公園と連携したスポーツ促進の指導員配置 ・子供のプレイパーク（野外冒険広場：オランダ参照） ・ワンストップの窓口業務（結婚しました窓口など） 	
--	--

	<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン市政モニターと証明書発行センター ・市税相談窓口（オンライン含む） ・出張法務局（オンライン含む） ・確定申告への対応窓口（オンライン含む） <p>【建築としての機能（盛り込む要素を含む）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・智のエントランスとしての情報図書館 ・知る場所から知識を生み出す場所へ ・デジタルファブリケーションセンター（ファブラボ） ・環デザイン（瞬間する資源活用のもづくり） ・市立大サテライト（他大学の真駒内サテライト） ・コミュニケーションデザインセンター ・常磐地区および藤野・簾舞地区を紡ぐ拠点の設置 ・景観配慮と自然素材・北海道産木材の活用・札幌軟石 ・発電フィルムガラスの採用（反射対策） ・地下鉄駅連絡通路の設置（地下あるいは空中回廊） ・小規模コンベンション機能 ・B 街区との相互連携ビジョン ・広場と通路（交流スペース、路上広場、マルシェ） ・札幌オリンピックのレガシーとの接点 ・五輪団地とのエリア交流（真駒内団地内広場の設置） ・駅前通りと現区役所～六花文庫の縦横の基幹ルート 	
--	---	--

	<p>【環境と景観から考えるまちづくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ランドスケープとしての駅前景観の計画づくり ・駅裏の森林景観の活用と駅上ホテル&レストラン ・駅から柏丘への視点としての街の拡がりランドスケープ ・真駒内公園ポプラ並木と街区の関連を配慮 ・本町や真駒内公園からも駅前の気配を演出する要素検討 ・色彩計画と街路灯のデザイン ・緑地計画 <p style="text-align: right;">など</p>	
--	--	--